

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	当院の緩和ケアチーム介入患者の介入前の症状スクリーニング結果とチーム介入後の症状マネジメントへの影響に関する検討
	研究対象者	当院で 2023 年 4 月から 2026 年 3 月の間に緩和ケアチームの介入を受けられた患者
	研究目的	当院では身体苦痛症状が強い場合には緩和ケアチーム（以後チームと省略）介入を依頼されることが一般的である。一方で外来初診時や入院時に身体苦痛に関するスクリーニングをすべての患者さんに行っているが、スクリーニングの結果からチーム依頼が行われることはほとんどない。症状が強いケースでは早期から専門的な緩和ケア介入を受けたほうが QOL 改善に効果的であったとの報告がある。そこで身体苦痛が強いと考えられるチーム患者さんの苦痛のスクリーニング結果をさかのぼって調査し、チーム介入前の苦痛の出現時期やその強さ、チーム介入までの期間とその後の症状軽減達成の程度などの情報をカルテから収集する。今後のチーム依頼のタイミングやチーム活動のあり方にフィードバックしていこうと考えている。
	研究方法	対象となった患者の症状スクリーニングの結果や病状経過やマネジメント方法など、カルテを後方視的に調査し、必要な情報を抽出する。苦痛症状出現時期からチーム介入までの期間に長短により、介入後の症状軽減達成度などへの影響があるか検討する
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 6 年 7 月 1 3 日 ～ 西 暦 2 0 2 8 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	☒ 総長が研究実施を許可した日 ☐ 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	☐ 試料:	☐ 血漿、 ☐ 血清、 ☐ 全血、 ☐ 末梢血から抽出した DNA、 ☐ 病理検体(具体的に記載: _____)、 ☐ 尿、 ☐ 糞便、 ☐ 唾液、 ☐ 胸水、 ☐ 腹水、 ☐ 脳脊髄液、 ☐ 毛髪、 ☐ その他(具体的に記載: _____)
	☒ 情報:	☒ 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 ☒ 年齢、 ☐ 生年月日、 ☒ 性別、 ☒ 既往歴、 ☒ 併存疾患、 ☒ 外来日・入院日・退院日、 ☒ 臨床検査値、 ☒ 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 ☒ 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 ☐ ゲノムデータ、 ☒ 看護記録、 ☒ その他(具体的に記載: 記載済み症状スクリーニング用紙)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 緩和ケア内科 太田周平
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・緩和ケア内科・太田周平・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	